

第 20 回年次理事会・総会を開催

川口 正義 (当会理事)

日本・パプアニューギニア協会の理事会と総会は、コロナの影響で書面による評決となっていました。5月8日以降5類感染症に移行したことから、実に令和元年以来実に4年ぶりの対面開催となりました。両会は所を変え、6月29日永田町の海運クラブで開催の運びとなりました。理事会(理事総数22名中16名出席、書面評決6名)に続く総会は、定足数134名(法人23社、個人111名)のうち80名の出席(内訳:本人出席26名、委任状出席54名)で成立となり、進められました。

議長は、橋廣治会長。令和2年(2020年)に会長に就任以来初めての進行でした。村田名誉会長のご挨拶の後、13年間会長を務められました山下勝男名誉顧問から御礼のご挨拶がありました。

「議連会員の皆さん、村田名誉会長、理事・会員の皆さんのご協力を得て、任期を終えることが出来ました。感謝申し上げます」

引き続き、令和4年度の事業報告と会計報告があり、特にパプアニューギニア国防軍の軍楽隊への支援の報告もありました。続いて令和5年度の事業計画案と予算案が発表され、全ての議案について承認をいただきました。令和5年度の活動報告に関しましては、TOKTOK会の再開や留学生との懇親会、関西支部や中部支部への支援、桜を送る活動(育桜会)の再開への連携も計画中であることの発表がありました。また奨学金の対象者を増やすことを検討することやパプアニューギニアからの往来(パプアニューギニア政府・教育省通信教育関係者等)の報告もありました。

ご出席の会員の方からは、協会の認知度を上げるために色々なイベントに参加すればどうかとか、独立記念パーティーの実施の有無や期待する旨のご意見やご質問がありました。

閉会に当たって、村田名誉会長からは、日本の外交のレベルアップには民間から支援する体制が必要であることや、橋会長からは遺骨収集への支援への言及がありました。

続く懇親会では、田中和徳日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長や松澤育桜会会長からもお言葉をいただき、久しぶりの会員同士のお話も盛り上がりました。



橋 廣治 当会会長



田中 和徳
日・パ友好議員連盟会長



松澤 寛文 育桜会会長



パプアニューギニアと日本の若者による「SDGs x ICT」交流が実現

西山 肇（日本パプアニューギニア文化交流会会長・当協会理事）

8月28日、「若者の国際ワークショップ：SDGs 達成に向けた ICT の可能性」が国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（奈良先端大）において開かれました。

当会はこのイベントを主催し、ICT 教育を重視するパプアニューギニア国立ソグレイ卓越高校からグイナ・ココさん、コネ・タウさん、イマキュレート・マイハさん（いずれも 12 年生の女子）の 3 名の生徒と ICT 担当教師ピクター・ソーオン（男性）さんを招待し、日本の若者や ICT 教師と国際交流する機会を実現することができました。

ここで両国の若者は 2030 年を目指した国連アクションプラン、SDGs（持続可能な開発目標）が自分の住む地域社会においてどう取り組まれているかや達成に必要なものについて発表したあと、Google Forms や Padlet などを使って通訳を介さず議論をし、理解を深めました。

ICT 教師と ICT 研究者を交えた総括セッションでは① SDGs 教育のマンネリ化、②日本は先端技術があるのに SDGs 達成のために十分活かされていない、③パプアニューギニアは資源があるのにインフラ未整備により活かされていない、④こうした内容を共有する国際交流と情報交換は SDGs 達成に寄与する等が語られました。また、次世代を担う若者は海外にも目を向けてもらいたいとの期待や交流の継続の重要性が表明されました。

参加者総数は 4 か国 34 名でしたが、参加した生徒は多くの気づきもあり楽しんでくれたようです。見守った他の参加者からは内容的にも議論の仕方においてもテーマとマッチしているうえ、参加型の模範的なワークショップモデルではないかという評価を頂きました。会場と運営にご協力を頂いたラウラ・クラ准教授を始めとする奈良先端大情報科学領域ソフトウェア工学松本健一研究室の皆様、ダイナミックな進行をして頂いたならやま小中学校教諭岸下哲史様、基調講演を頂いた奈良女子高等学校教諭新宮済様、多数ご参加下さった奈良県立奈良北高等学校および発表者を出して頂いた学校関係者の皆様、アドバ

イスを下さった JICA 奈良デスクの福西真実様、当会を代表してワークショップを統括し、パプアニューギニアの来訪者に同伴頂いた濱崎三枝子（一社）南太平洋協会理事長、協賛を頂いた双日国際交流財団および三菱 UFJ 国際財団様、企画・総合調整にご尽力された当会副会長であり仙台育英&ソグレイ日本語センター所長石井靖也氏（開発学博士）、そして陰で支えて下さった多くの友人に厚く感謝申し上げます。

パプアニューギニアの一行は翌 29 日に仲川奈良市長を表敬しワークショップの成果を報告し、これを機縁に関係者との交流を今後も続けたいと抱負を語りました。一行はこの後、奈良女子高等学校、翌 30 日は京都コンピューター学院を訪問し交流を拡げました。

甚だ簡単ではありますが、当会による若者国際交流事業のご紹介と致します。



ワークショップ終了後の集合写真（8月28日奈良先端大）



ワークショップで発表の準備をするソグレイ高校の生徒達



奈良市長を表敬するソグレイ高校一行（8月29日）



奈良女子高等学校で交流するソグレイ高校一行（8月29日）



京都コンピューター学院で交流するソグレイ高校一行（8月30日）

令和 4 - 5 年度 役員理事リスト（敬称略）

顧問	日本・パプアニューギニア友好議員連盟の諸先生	代表 田中 和徳（衆議院議員、日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長）	理事	喜多村 裕介	元 JICA パプアニューギニア所長
名誉会長（理事）	村田 吉隆	前日本パプアニューギニア友好議員連盟会長	理事	郡 修 三	株式会社郡産業 代表取締役
名誉顧問（理事）	谷 口 誠	桜美林大学北東アジア総合研究所特別顧問、元日本・パプアニューギニア協会会長、元駐パプアニューギニア日本国大使、元日本国国連大使	理事	鈴木 紀 久 代	新潟ニューギニア協会 事務局長
名誉顧問（理事）	山下 勝 男	元駐パプアニューギニア日本国大使、前日本・パプアニューギニア協会会長	理事	高松 裕 満	協和海運株式会社 代表取締役社長
会長（理事）	橋 廣 治	元 パプアニューギニア日本国大使、作家	理事	月 原 嘉 彦	住友林業 資源環境事業本部 海外資源部長
副会長（理事）	及 川 正 博	立命館大学名誉教授	理事	辻 尚 志	元 JICA パプアニューギニア所長
副会長（理事）	片 岡 明 人	住友林業 資源環境事業本部 技師長	理事	豊田 由 貴 夫	立教大学名誉教授
事務局長（理事）	島 田 謙 三	元ニューギニア航空 日本支社長、日本ビジネスライン株式会社代表取締役	理事	中 村 弘	晃和木材株式会社 前代表取締役社長
	以下 50 音 順		理事	西 山 肇	元 パプアニューギニア日本国大使
理事	賀集 イレーネ	アルゼンチン共和国 弁護士	理事	花 井 鍊 太 郎	三重県 JICA 育てる会 理事顧問、鈴鹿ロータリークラブ会長、鈴鹿国際大学客員教授
理事	川 口 正 義	株式会社川口至誠堂 代表取締役社長、日本旅行作家協会会員	理事	原 晃	コーエイ総合研究所 顧問、元 PNG 政府外国人契約公務員
			理事	武 藤 優	株式会社パプアニューギニア海産 取締役会長
			理事	柳 田 正 弘	株式会社 かもめ 代表取締役
			監事	土 屋 耕 太 郎	土屋法律事務所 弁護士

渡邊 信之（駐 PNG 日本大使）

日本は例年にも増して暑い夏を過ごしていると伺っており、お見舞い申し上げます。この時期だけは、赤道直下のパプアニューギニアの方が過ごしやすくなっているようです。

防衛分野の交流・協力

7月7日から11日にかけて、海上自衛隊護衛艦「いずも」が令和5年度インド太平洋方面派遣（IPD23）の一環としてポートモレスビーへ寄港しました。今次寄港は昨年9月護衛艦「きりさめ」に引き続いてのものとなります。「いずも」は、当地滞在期間中に PNG 国防軍との様々な交流を通じて両国の共通ビジョンである「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」実現に向け、絆を深めました。

「いずも」寄港と時を同じくして、PNG 国防軍軍楽隊に対する陸上自衛隊による能力構築支援が行われました。本協力は、日 PNG 協会の皆様の多大なご支援をいただきながら2015年以來8年にも及んでおり、年々レベルアップが図られると共に活躍の場を広げております。とりわけ本年は本支援が行われている間に、米オースティン国防長官、仏マクロン大統領が当地を訪問した際、軍楽隊が PNG 及び相手国の国歌を演奏するなど、当地の国家的国際イベントにおいて大事な役割を果たしております。



クリケット日本代表チーム来訪

クリケットの世界の競技人口は3億人でサッカーに次ぐ規模です。明2024年、クリケットの世界・カップが米・西インド諸島で共催されることになっており、競技人口3,500人の日本からも東アジア・大洋州地区最終予選に参加し、7月22日から29日までポートモレスビーで日本、PNG、フィリピン、バヌアツの4カ国が総当たりで二回ずつ戦い、1枠を争いました。かく言う私も、この機会に初めてルールを勉強し、試合を観戦しました。間近で観ますとスピード感やテクニク、駆け引きが面白くあつという間に3時間が経過し、世界各国で人気があるのも頷けました。PNGとの対戦は、太陽が燦々と降り注ぎ（現在は乾期のため）爽やかな陽気の下で白熱、地元サポーターの応援も大変明るく賑やかで非常に楽しい一時を過ごせました。

日本選手団は選手とスタッフを合わせ総勢20名。海外生活経験豊富な選手も多数おりましたが、今回初めて足を踏み入れた PNG には強烈な印象を受けたそうです。一方で、競技場内外で受けた地元の人達の暖かいもてなしに感動していました。スポーツを通じて友好親善促進に一役を担う意義のあるイベントではなかったでしょうか。

全予選を終えた結果は世界ランク21位の PNG が全勝して本戦への出場枠を獲得しました。日本はランク60位ながら3勝3敗、二位と敢闘。このチームは今年の9月に中国浙江省杭州市で開催される第19回アジア競技大会にも参加します。健闘を祈ります。



萩原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

2023年7月15日、パプアニューギニア大使館で長年勤務していらっしやった、城さんこと、城ヶ瀧道和様（元 Chief Administrative Officer）が享年74歳でご逝去されました。

1975年の9月16日のパプアニューギニア国独立時に、この大使館が東京で開館し、独立後数か月後の1975年12月1日から2022年6月30日までの47年間、パプアニューギニア国のために身を粉にして働かれ、歴代の外交官や大使家族の生活基盤を立ち上げ、お世話をされ、PNGよりVIPが来日された時は全力でお手配をされ、まさにパプアニューギニアのために全身全霊をかけて47年間この大使館で勤務をされました。

まさに、日本とパプアニューギニアの両国をつなぐ架け橋となって、47年間走り続けられていました。そしてパプアニューギニア政府より2度、Logofu Award という、名誉ある勲章を授与されました。

城さんは、2022年6月末に体調を崩された為、長年勤務された大使館を急遽退職され、1年余りの闘病生活でした。

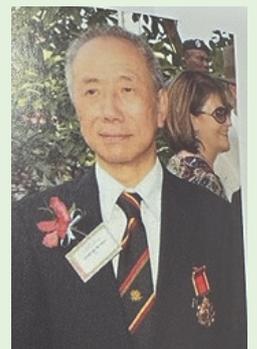
今後、我々大使館スタッフも微力ながら、両国関係の発展に向け、城さんのように、強い決意を持って、様々な業務に取り組んで参りたいと思います。

城さん、パプアニューギニアの為に多大なるご尽力をされ、ありがとうございました。

本当にお疲れ様でした。我々スタッフ一同、心よりご冥福をお祈り致します。



在りし日の城ヶ瀧道和様



Logofu Award 授賞式にて

この度、新規入会させて頂く事となりました株式会社ケイゾーインターナショナルは、新車・中古車の自動車販売買取業として2010年に大阪府堺市で創業しました。

現在は、堺市に販売店舗として高級車専門店と貿易事業を運営する「KEIZO」、BMW MIMI 専門店の「MINI PARK」、整備工場のある本社、東京都調布市に高級車専門店の「KEIZO TOKYO」の4店舗を運営しております。

貿易事業として主にバングラディッシュ、アメリカに自動車の輸出を行っておりますが、貿易事業は立上げからまだ約2年半とまだまだ分からない事も多く、従業員一丸となって新たな事業取り組みに日々邁進しております。

貿易事業発足に際し、アメリカ人スタッフとバングラディッシュ人スタッフを新たに正社員採用しました。今まで海外の人と触れ合う機会が少なかったスタッフ達が大半でしたが、私たちには無い文化、発想や価値観、行動力に社内全体が良い影響を受け新たな風が入る大切さを貿易事業から学び貿易事業にチャレンジして大変良かったと思います。今後も地域や台数を増やして行く予定ですので本会員の皆様には、どんな事でも結構ですのでアドバイス頂けたら幸いです。

私どもが感じる昨今の自動車業界としましては、コロナ不況に始まり、ウクライナとロシアの問題、半導体不足による車両生産遅延、納期の大幅な遅れやそれに伴い中古車市場の大幅な価格上昇と決して良い事ばかりではない

ニュースが先行しており日本国内における自動車販売業界は今までにない逆風だと思います。

しかしながら、チャンスはいつでも自分たち次第で掴めると常に前向き考えており、これからも常にチャンスを掴めるフットワークの軽さと今までの経験に捕らわれない時代に合わせた柔軟性と行動力を大切に常に挑み続けたいと思います。

企業理念は「面白くてちゃんとした会社」抽象的で足並みが揃わず苦勞した事もありますが、全社員の「考える力」、「行動力」が少しずつではありますが向上し、形に捕らわれないサービス提供と顧客満足に貢献出来始めていると思います。

まだまだ未熟者ですが今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



高級外車が並ぶショールーム



整備工場外観



アメリカ人スタッフとバングラディッシュ人スタッフ

事務局からのお知らせ

ごくらくちょう 80号をお届けいたしました。コロナが本格的に明け、総会、PNGからの教育省関係の御来日など諸々の行事がかさなり、本号の発行がひと月遅れてしまいました。皆様には深くおわび申し上げます。

本号では PNG 大使館に長年お務めになられた城ヶ瀧さんの訃報を PNG 大使館の荻原さんに報じていただきました。小職が初めて城ヶ瀧さんにお会いしたのは、40年近く前になります。それ以来大変に御世話になって参りま

した。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

先に触れましたパプアニューギニア教育省(遠隔教育)の関係者が6月末に24名来日され日本各地を訪問されました。NHK 学園、東京通信大学そして仙台育英学園を訪問され、日本で行われている遠隔教育(通信制)等について積極的な意見交換が行われました。また短い時間ではありましたが、京都と都内、そして松島で日本文化に触れていただいたよう

今回の彼らの訪問で驚いたのは、実に皆さん礼儀正しく、しっかりと団体行動ができていたことです。満員電車も経験され日本をどのように思われたでしょうか。しかし何よりも驚くことは、PNGからもこのように研修旅行などで日本を訪問する方が増えてきていることです。

協会としましてもこのような PNG からの方々とも交流ができる場を今後ますます提供してまいりたいと考えております。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：23社 ◆ 個人会員：102名 (2023年8月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン(株)内
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員6,000円 家族会員3,000円 法人会員60,000円 学生、PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ)ニホン パプアニューギニアキョウカイ